

一中学生の最善最高の自覚と実践 NO3(R5.6.8)

○主幹教諭より

1学期も半ばを迎え、先日行われた1, 2年生の「集団行動クラスマッチ」や生徒会役員を中心とし、各学級でも事前の学級会で議論を重ね本番に臨んだ「生徒総会」、またPTA主催の「せせらぎ水路ボランティア」など、本校生徒も様々な活動に精一杯頑張り、少しずつ成長の跡を残しています。

そのような中、6/1(木)には、第1回学校運営協議会が開催され、委員の皆様には生徒の授業の様子を参観いただき、また地域での様子や学校全体へのご意見等をいただきました。

6/2(金)には、八代市教育委員会による学校訪問が行われ、学校運営に関するご助言等をいただきました。特に、朝の学び合いタイムでの全職員での関わりや授業中の落ち着いた学習姿勢、またやつしろスピリッツの実践事項の1つである「そろえる」について、生徒昇降口の靴箱の靴も各トイレのスリッパもかかところがそろってきれいに並んでいる点などを評価いただきました。

日頃、生徒たちとともに課題に向き合い、その課題の解決のために日々の教育活動を行っておりますが、今回の2つの機会を通して、私たちが気づかない視点や発想等、様々なご意見をいただき、たいへんありがたく思いました。

なかでも、「あいさつ」については、どちらともに高く評価していただき、地域でも「一中生があいさつしてくれます!」、「少しずつ良くなっていますね!」とのお褒めの言葉もいただきました。これからも一中校区全体で「あいさつの輪」が広がるよう、幼稚園、小学校とも連携を深めていきます。

そして、今後も生徒全員が安心して笑顔で過ごせる学校づくりをめざして、生徒同士のつながり、生徒と先生とのつながり、保護者及び地域の方とのつながり、先生同士のつながりを大切に、信頼関係を築きながら教育活動を進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

☆最善最高☆ 『学び合いタイム』



☆自覚と実践☆ 『生徒総会』

